

名古屋大学工学部

・大根溝・横瀬

LD炉の噴射ジェットは多点物の他に運動量を輸送する。ジェットの運動量が鋼浴へ混合へおよぼす影響をモデルに基づいてしらべ、ラニス高さとタンク圧の効果を検討した。また、試験面上での静圧分布を実測し、理論値と実測値を関係づけるパラメータを、および凹凸の形状を吟味した。

a) 1ズル出口におけるガス流速 D_1 と質量流量 G_1

$$D_1 = [2\gamma/(r-1)(RT_0 g_c)\{1-(P_0/P_1)^{(r-1)/r}\}]^{1/2} \quad (1) \quad G_1 = \{\gamma(2/(r+1))^{(r+1)/(r-1)}(RT_0 g_c)\}^{1/2}(\pi D_1^2/4)P_0 \quad (2)$$

b) ジェットの流れの流速分布と浸入深さ

$$DR/DY = K(D/Y) \exp\{-2K(Y/Y)^2\} \quad (3) \quad (k/2)\rho DR^2 = g_L g_F \quad (4)$$

(1)~(4)式により $Y = R + L$ として浸入深さ R を求めよ。

c) 凹凸周辺でのガスの流れと凹凸の形状

オ1 図の①②両のガス流に運動量保存則を適用して(5)式が、また、より実③から④間のガスの主流を完全流体として(6)式が得られる。

$$G_1 D_1 + dG_1 D_2 \sin \theta = (F_{xy} + F_{yy})g_c \quad (5) \quad D dD = -(1/\rho)dp \quad (6)$$

d はガス流量の変化を示す係数、 F_{xy} 、 F_{yy} はジェットによって除かれた液鋼の体積力と、ガスに対する摩擦力をみる。オービックとして、凹凸の形状を $y = ax^2$ と仮定すると(7)式が得られ、凹凸の表面積 S_t は(8)式で表わされる。 a を求めるには trial 計算を行う。

$$D(x) = (2g g_L / \rho)^{1/2} x = mx \quad (7)$$

$$S_t = (4\pi/3)[(h/a + 1/4a^2)^{3/2} - 1/8a^2] \quad (8)$$

d) ガス流による抵抗力の影響 — i) 層流境界層領域

$$(d/ds) \int u^2 du - D(d/ds) \int u du = -\delta dp/ds - T_o \quad (9)$$

$$\delta = a[x(x^2+A)^{1/2} + A \ln\{2a(x^2+A)^{1/2}\}] \quad (10), A = (1/2a)^2$$

(5)式と Kármán 積分条件である(9)式とを層内速度分布に Pohlhausen の4次式を用い、藤本の近似解法により解くと

$$\Theta = (0.94aV/mx^6)[(x^2+A)^{1/2}\{(1/7)(x^2+A)^3 - (2/5)A(x^2+A)^2 + (1/3)A^2(x^2+A)\} - (8/105)A^{5/2}] \quad (11)$$

$\Rightarrow \tau_c$ 、 $\Theta = (1/D^2) \int u(D-u)du$, $V = \mu/\tau_c$ である。

ii) 乱流境界層領域 ($Re = UD/\nu \geq Re_{cr} = 2000$)

$$d\Theta/ds + (H+2)(\Theta/D)(dD/ds) = T_{oc}/\rho U^2 \quad (12)$$

$$T_{oc}/\rho U^2 = d''(D\Theta/\nu)^{1/4} \quad (13) \quad H = 1.57, \alpha' = 0.0065, \beta = 6$$

層内速度分布を $u/D = (n/s)^{1/7}$ として近似解は

$$\Theta(D\Theta/\nu)^{1/6} = (3.16 \times 10^4 \alpha'/z^4) [z(8z^4 + 2Az^2 - 3A^2)(z^2 + A)^{1/2} + 3A^3 \ln\{z + (z^2 + A)^{1/2}\} + C] \quad (14), C は遷移係数であり未定。$$

$$T_{oc} = 2\pi \int_{x_t}^{x_e} z T_{oc} dz + 2\pi \int_{x_t}^{x_e} z T_{oc} dx \quad (15) となる。$$

(文献) (1) 上：鉄と鋼、55(1965), 706,

